

自殺対策シンポジウム ひろしま2007

2007年10月7日[日] 13:00~16:30

中国新聞ホール(中国新聞ビル7階)

入場無料

広島市中区土橋町7-1

PROGRAM [プログラム]

13:00-13:05 ① あいさつ

13:05-13:50 ② 基調講演

[テーマ] 「心のSOSにどう対応するか」

[講師] 東京大学学生相談所・大学院教育学研究科 教授 倉光 修

13:50-15:15 ③ シンポジウム

[テーマ] 「今、私たちにできること」

[コーディネーター] 広島大学病院精神科 教授 山脇 成人

[シンポジスト] (1) 弁護士 秋田 智佳子

(2) 広島大学病院精神科 講師 岡本 泰昌

(3) 東京大学学生相談所・大学院教育学研究科 教授 倉光 修

(4) 広島産業保健推進センター 所長 坪田 信孝

(5) 自殺対策支援センターライフリンク 副代表 西田 正広

15:15-15:30 休憩

15:30-16:30 ④ 分科会

	[テーマ]	[講師]
1 第1分科会	うつ病の正しい理解	広島大学病院精神科 講師 岡本 泰昌
2 第2分科会	多重債務による自殺の防止	弁護士 秋田 智佳子 弁護士 大村 真司
3 第3分科会	職場における自殺の防止	広島産業保健推進センター 所長 坪田 信孝
4 第4分科会	自死遺族の痛みと課題	自殺対策支援センターライフリンク 副代表 西田 正広

申込方法/電話またはFAXで、氏名・電話番号・希望する分科会を記入し、10月3日(水) [必着] までに、広島いのちの電話事務局(TEL.082-221-3113 FAX.082-221-6778)までお申し込みください。なお、申込者が多数の場合、会場の都合により分科会へのご参加は先着順となりますので、あらかじめご了承ください。

主催/広島市、広島市教育委員会

運営協力/広島いのちの電話

後援/内閣府、広島県、広島県医師会、広島市医師会、広島県精神科病院協会、広島県精神科診療所協会、広島弁護士会、広島司法書士会、広島労働局、広島産業保健推進センター、広島商工会議所、広島県中小企業団体中央会、広島市社会福祉協議会、広島市民生委員児童委員協議会、広島県看護協会、日本精神科看護技術協会広島県支部、広島県精神保健福祉士協会、広島市精神保健福祉家族会連合会、中国新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、自死遺族支援全国キャラバン実行委員会



【交通アクセス】

広島駅より

- ①広島バス：吉島営業所または吉島病院行き約15分、(赤バス) 平和公園前バス停下車徒歩約5分。
- ②市内電車：「江波」「己斐」「宮島」行き約20分、土橋または本川町電停下車徒歩約10分。
- ③タクシー：約12~13分

自殺対策シンポジウム ひろしま2007

平成10年から毎年、全国で3万人を超える方が、

広島市では200人を超える方が、自殺で亡くなっています。

また、自殺の背景には、様々な社会的要因が複雑に

絡み合っており、社会全体で自殺対策に取り組んでいく必要があります。

こうしたことから、市民一人ひとりが、

自殺は社会全体で取り組むべき問題であることを認識し、

互いに支え合う社会の実現を目指し、シンポジウムを開催します。

PROFILE [講師・コーディネーター／プロフィール]

倉光 修

東京大学学生相談所・大学院教育学研究科 教授
臨床心理士・博士(教育学)
日本臨床心理士会 副会長
大阪市スクールカウンセラー スーパーバイザー
昭和55年/京都大学大学院博士課程修了
昭和55年/京都大学助手
(心理教育相談室カウンセラー)
昭和58年/同講師
(学生懇話室カウンセラー)
平成元年/大阪大学助教授
(心理教育相談室室長)
平成 8年/同教授(同上)
平成16年/東京大学教授
(学生相談所カウンセラー)

不登校や不就学、うつ状態やPTSD、いじめやハラスメント、自殺念慮などに苦しむ人々に対するカウンセリングを長年実践している。
著書は、「カウンセリングの心理学」、「臨床心理学」、「心理臨床の技能と研究」、「カウンセリング・ガイドブック」等多数。

山脇 成人

広島大学病院精神科 教授・医学博士
昭和54年/広島大学医学部卒
専門は精神医学、うつ病の脳科学、がん患者のこころの医学(サイコオンコロジー)。
日本学術会議連携会員、国際老年精神神経薬理学会(ICGP)理事長、国際神経精神薬理学会(CINP)事務局長、日本うつ病学会理事、日本緩和医療学会理事、日本サイコオンコロジー学会代表などを歴任。広島市および広島県のうつ病・自殺予防対策推進協議会の会長として、市民・県民のこころの健康対策に関与している。

岡本 泰昌

広島大学病院精神科講師・医学博士
広島大学大学院修了。専門は精神医学。
平成9年より広島大学病院にてうつ病(気分障害)の専門外来を担当。最も興味のあるテーマは「どうして人はうつ病になるか、うつ病になったらどうしたらよく治るか」。

秋田 智佳子

弁護士/広島総合法律会計事務所
平成元年/関西学院大学法学部卒業
広島弁護士会消費者問題対策委員会委員。平成19年7月設置の広島県多重債務者対策協議会上記委員として参加。広島県クレジット・サラ金問題対策協議会会員。専門分野は消費者事件(商工ローン問題、ヤミ金問題、破産・任意整理、過払金返還請求など)。

大村 真司

弁護士/広島みらい法律事務所
平成9年/東京大学法学部卒業
広島弁護士会消費者問題対策委員会副委員長。広島県クレジット・サラ金問題対策協議会会員。専門分野は消費者事件(悪質商法、ヤミ金問題、破産・任意整理、過払金返還請求など)。

坪田 信孝

広島産業保健推進センター 所長
医師・医学博士
昭和55年/岡山大学大学院医学研究科修了
昭和55年/広島大学医学部講師
昭和57年/同大学医学部助教授
平成13年8月/同大学を退職
平成13年9月/現職就任
広島県内の産業医、衛生管理者、保健師など産業保健スタッフの支援・育成に力をそそぎ活発な産業保護活動が実践されるよう努力している。

西田 正弘

自殺対策支援センターライフリンク 副代表
平成 8年/あしなが育英会入局
平成12年/自死遺児のケアを開始
平成16年/「自死遺児の声を社会に繋ぎたい」と、仲間とともにライフリンクを設立
各地の「自死遺族分かちあいの会」立ち上げ・運営を支援している。

FAX参加申込記入欄

ふりがな
[氏名]

[電話番号]

— —

[希望分科会] 第

分科会

※お送りいただいた個人情報分科会の定員を超えた場合に、連絡先として使用します。それ以外の目的には使用しません。
※特に連絡のない場合は、ご参加いただけます。